

真打登場
注目はデビュー3連勝中のレイエム...

馬の全兄と互角以上
役へ、無傷の4連勝を狙う...

延長クリアなら上位の圏内
過去10年ダービー3着内馬は...

ダービー2桁着順だった馬は
2216。16着のジュネ...

着のオウケンムーンも重賞勝
ちの実績があり、見限れない...

1口とコンビ継続も心強い
3ヶ月ぶりの前走を好時計で...

Main racing results table with columns for race numbers (15, 14, 13, 12, 11, 10, 9, 8, 7, 6, 5, 4, 3, 2, 1), horse names, jockeys, trainers, and race outcomes.

セントライト記念 過去5回の成績
馬連平均134.50円
馬主人気の堅い決着3回...

中山11 発走 15:45
菊花賞トライアル・3着まで優先出走権...

夢2200
コスモバルク 56 五五冬 04年9月19日

今回推定タイム
重 2.12秒台
良 2.14秒台

成績の見方
①場所(馬場状態) 月日
②競走名 条件 着順...

馬場状態
①0 ②1 ③2 ④3 ⑤4 ⑥5 ⑦6 ⑧7 ⑨8 ⑩9

脚質別連対数
左芝 右芝 中山芝
①着 ②着 ③着 ④着 ⑤着

本紙の見解

資質一流のレイエンダ

レイエンダはデビューから休養を挟んで無傷の3連勝。それも、すべて余裕十分の圧勝だった。...

WIN56 3連単 1着 124 2着 579 3着 124 579

3連複 5715 4515 1515 2515 4715 1715 2715 1415 2415

シス展開 1 2 3 4 107 53.7 42.0 11.0 53.0

が、体調はいい。強敵相手にどれだけやれるか。強敵相手にどれだけやれるか。...

ここまでの調整は順調。幅が出て馬体は確実に成長している感。触もあるからね。...

して在厩調整。輸送で減った体も今は回復している。キャリアの浅さがネックだが、そのぶん...

かしていきなり形で早めに脚を使われた。あの感じなら小回りでした。...

高島助手「ここの2走はパドックからイレ込みがきつかった。...

中山11R レイエンダ 函館に「検索おぼさん」と言われる人が出た。突然、車の窓を叩き「スマホを去能人の...



蹴り込み力強く、迫力ある伸び脚。馬体にも厚み。【B】メイショウ栗岡良 6F83.2 66.1 51.2 37.3 12.30

重心が洗って1Fシャープに伸びる。好仕上がり。【B】ケイティク栗岡良 6F85.3 68.6 53.3 39.1 11.70

直前はPでビシッと。馬体の張りも上々で好気配。【B】オウケム南W稍 6F84.9 68.4 53.2 39.3 12.50

重くも楽々先着の先週が好内容。春より走り軽い。【B】レイエンダ南W稍 65.2 50.0 37.0 12.17

グリーンチャンネル解説者 黒津 紳一 相手に一日抜け出した。NHKマイルCは高評価。...

中山 11R TMイチ推し15レイエンダ 仕掛けに素早く反応 素晴らしい瞬発力

1ギベオン 栗芝良 1000 800 600 200 脚いろ 9栗坂助手 585 431 139馬なり

4ジェネラー南W稍 23栗坂助手 550 397 118馬なり 30南BW稍助手 68.0 53.8 40.7

7プレスティン南W稍 23南BW稍助手 74.4 58.5 43.3 14.50

馬番連複オッズ table with columns for race numbers and odds.

スタップ予想 table with columns for race numbers and various performance indicators.

馬単オッズ table with columns for race numbers and odds.

中山 11R 3連複 table with columns for race numbers and odds.

◆皀月賞最先着馬の成績◆

10年ゲジュタルト	⑦↓⑭着
11年サダムパテック	②↓③着
12年アーデント	⑩↓⑧着
14年イスラポニータ	①↓①着
15年キタサンブラック	③↓①着
16年ディーマジステイ	①↓①着
17年アルアイン	①↓②着

*13年は出走なし。着順は上が皀月賞、下がセントライト記念

皀木集保の馬

▼菊花賞トライアルのセントライト記念に出走し、菊花賞を勝ったのは、最近10年では15年の関西馬キタサンブラックだけ

▼この10年、セ記念をステップに菊花賞で②着した馬は3頭いるが、すべて関西馬だった。

菊花賞は目下、関西馬が「16連勝」であり、西の①②着独占が13年も連続している

▼菊花賞の3000mは「近年の世界の流れに合わない」という声があるが、その多くは劣勢の関東馬に深く関係する人びとの声だという説がある

▼また、3000mが現代の競馬にそぐわないというなら、も

◎セントライト優勝馬の前走成績

08年ダイワワイルドボア	一千万④
09年ナカヤマフェスタ	ダービー④
10年オクカスター	ラジオ②
11年フェイトフルウォー	ダービー⑩
12年フェノメノ	ダービー②
13年ユールシンキング	五百萬①
14年イスラポニータ	ダービー②
15年キタサンブラック	ダービー④
16年ディーマジステイ	ダービー③
17年ミッキースワロー	一千万③

う半世紀も挑戦しつづけているのだから、ゴール寸前で止まらず、せめて1回くらい凱旋門賞を勝ってからにしたらどうだ、という辛辣な声もある

▼距離に対する考え方にはさまざまな理由や根拠があり、確かに現代はスプリンターや、マイラーに傾斜する時代だが、菊花賞の秋と、春の天皇賞の季節には、長距離戦の持つ意味をちょっと真剣に考えたい

▼わたしたち人間と、サラブレッドは筋肉組織も心肺機能も異なり、サラブレッドはその本質がマイラーであることされるが、サラブレッドが誕生して300余年。そういうふうに変えてきたのは、実は、人間である。

秋の菊花賞路線は、ずっと劣勢の関東馬に肩入れしたい

競馬人情 吉川良

セントライトは1941(昭和16)年、小西喜蔵騎手の手綱で初めての三冠馬になった。その偉業を称えて、1947(昭和22)年、セントライト記念競走が設けられた。第1回の勝ち馬はイーストバレード。鞍上は小西喜蔵騎手だった。

ごめん、少し、昔の話。おれ、おじいさんになった小西喜蔵さんと美浦トレセンで知りあい、仲よかったです。何度も小西さんの家でごちそうになったり、昔話を聞いたりした。

「セントライトは道悪が得意。ダービーも菊花賞も道悪の重馬場。運の強い馬だ。その馬に乗ってたというんだ

から、わたしも運が強いな」と小西さんは笑っていた。

第72回セントライト記念に、ダービー馬レイデオロの策、レイエンダが出走する。去年7月、札幌でデビュー勝ち。

「凄い。きつと大物」と札幌の友だちから電話があったが、右前肢の骨折。今年5月の東京、9カ月半ぶりの夏木立賞で楽勝。「凄い。名の通り、伝説、となりそう」とおれは思った。そして7月の函館、松前特別で圧勝。「とんでもない馬。ハンパないわ」と函館の友だちからの電話。

9月17日、レイエンダをしっかり見よう。

だからといって、馬券は別。このこと、わかる人にはわかるよね。馬単④⑤⑤⑤⑦⑦⑦